

# こぼと学級知的障がい児学級 算数科学習指導案

児童 男子0名 女子1名 計1名  
指導者

## 1 単元名

広さを調べよう (4年下)

## 2 単元について

### 【単元の目標】

- 面積について単位と測定の意味を理解することができる。
- 面積を計算によって求めることができ、面積についての量感を豊かにする。

### 【児童の実態】

- 算数の学習に対して興味を持ち、意欲的に取り組むことができる。
- 通常学級で行っている内容から遅れないように、意欲的に学習する。
- 集中して取り組むことが苦手である。
- 計算問題に積極的に取り組むが、ひき算の繰り下がりに抵抗がある。
- 角度を測る時、分度器の線にうまく合わせることが苦手である。
- 垂線や平行な線を書くときは、三角定規を押さえることが上手にできないため、最後までまっすぐに引けないことが多い。

### 【研究内容とのかかわりについて】

#### <研究内容1について>

教材に取り組む時に、関わっている既習事項を必ず取り上げて復習をし、関連させながら新しい学習内容に取り組みさせるようにしている。本指導案では、必要な既習事項を指導計画の中に太字で提示している。

#### <研究内容2について>

児童は、作業を苦手としているので、その時点ですまづいて進めないことが多くある。そこで、作業をしやすくするために、教材を大きくしたり児童の興味をもつ教材を準備したりしている。本教材では、1cm<sup>2</sup>を体感し図形を作ることが難しいと考えられるので、1cm<sup>2</sup>のマスを磁石にすることで作業をスムーズにし、図形を作る楽しさを体験させる。

#### <研究内容3について>

児童は、集中力に欠けるために、5問で一枚のプリントをクリアできるとシールがもらえ、10枚たまと大きいシールをもらえるトークンシステムを取り入れている。それを繰り返すことで、意欲的に取り組むことができるようにしている。

<レディネステストの結果>

	問 題 の ね ら い	正 誤
①	どの三角形が大きいかが分かる。	○
②	どの四角形が大きいかが分かる。	○
③	定規や巻き尺の目盛りが分かる。	△
④	重さがわかり、目盛りを読むことができる。	△
⑤	(未習内容) 広さの単位が分かる。	×

4 指導計画 (11時間)

第1次	広さの表し方 いろいろな図形の大小 陣取りゲーム <b>「平方センチメートル」の理解</b>	2時間  (1) <b>(1) 本時</b>
第2次	長方形と正方形の面積 長方形、正方形の面積を求める公式の理解 類似問題 タングラム 図形遊び(切り張り)	3時間 (1) (1) (1)
第3次	大きな面積の単位 「1メートル」の確認 「1平方メートル」の理解 応用問題 $m^2$ 、 $a$ 、 $h$ $a$ の相互関係	4時間 (1) (1) (2) (1)
第4次	まとめ	3時間

5 本時のねらい

(1) ねらい

- ・面積の単位「平方センチメートル( $cm^2$ )」について理解することができる。

(2) 研究内容について

<研究内容1>

既習事項の活用 長さや重さの単位

<研究内容2>

1  $cm^2$  のマス

<研究内容3>

プリントチャレンジのトークンシステム

(3) 本時の展開

段階	学習活動と予想される児童の反応	学習への支援と評価 支援：◇ 評価：◆ 手立て：☆
3	1 前時に行った「陣取りゲーム」について想起する。	☆「陣取りゲーム」を行った紙を黒板に提示する。 ◇どちらが勝ったか考えさせる。 ◇重ねることで広さの違いが分かることを確認する。 ☆広さ比べの手がかりにするために、前時に使用した大小の図形も準備しておく。
10	2 それぞれの陣地の広さを確認する。  3 面積の単位( $\text{cm}^2$ )を知る。	☆「陣取りゲーム」を行った紙にマス目に区切った紙を重ね、数を数える。 ◇一つのマスが、同じであることを確かめる。  ☆ $1\text{ cm}^2$ の大きさのマスを用意し、体感させる。 ◇長さや重さなどと同じように単位が必要であるという考えを引き出させる。 ◇「 $\text{cm}^2$ 」を薄く書いた紙を用意する。 ◆ $1\text{ cm}^2$ の面積を理解することができたか。
27	4 $1\text{ cm}^2$ の磁石を使って、 $4\text{ cm}^2$ の図形をつくる。  5 $1\text{ cm}^2$ の磁石を使って、 $6\text{ cm}^2$ の図形をつくる。  6 プリントチャレンジに取り組む。	☆長方形や正方形などの図形を作る。 $1\text{ cm}^2$ の方眼を用意しその上で作業させる。 ◇図形を作るための $1\text{ cm}^2$ の磁石を用意する。  ☆マス6つ分を意識させながら長方形や正方形などの形を作らせる。 ◇ $4\text{ cm}^2$ の図形を作ったことを参考に $6\text{ cm}^2$ の図形に取り組む。 ◇変形の図形もよいこととする。
5	7 次の活動を知る。	☆長方形や正方形の面積の求め方を、考えていくことを知る。

(4) 評価

評価規準  (観点)〔方法〕	判定基準		
	十分満足	おおむね満足	手立て
面積の単位 $1 \text{ cm}^2$ を理解することができる。  (知識・理解) 〔観察・発言〕	自分からあれこれ試しながら、 $4 \text{ cm}^2$ の図形を作っている。	$1 \text{ cm}^2$ の磁石を理解している。	$1 \text{ cm}^2$ の磁石を一緒に数えながらマス目に並べて、形を作る。

6 算数科年間指導計画

学期	単 元 名
一学期	大きい数のしくみ 角の大きさ わり算の筆算(1) 垂直・平行と四角形 折れ線グラフ
二学期	小数のしくみ 記録を見やすく整理しよう 計算のやくそくを調べよう 広さを調べよう わり算の筆算(2) 分数 変わり方調べ がい数の表し方
三学期	小数のかけ算とわり算を考えよう 直方体と立方体